

19年度土木学会賞

功績賞に12氏選定

土木学会（林康雄会長）は2019年度の土木学会賞を決めた。応募255件の中から、功績賞や技術賞など全19部門で計115件を選定。応募、受賞件数とも直近5年で最多となる。

表彰式は例年、6月の定時総会で行っている。新型コロナウイルスの流行を踏まえ、総会も縮小して開催するため表彰式は中止する。

△岸井隆幸（計量計画研究所所代表理事、日本大学理工学部特任教授）△鬼頭平三（港湾保安対策機構会長）△崎元達郎（銀杏学園理事長）△鈴木基行（東北大名誉教授）△清治真人（東大名譽教授）△高橋和雄（長崎大名譽教授、長崎大学特任研究員）△田中正典（JR東日本国際事業本部インド高速鉄道部門顧問）△辻本哲郎（河川情報センター河川情報研究所長、名古屋大名譽教授）△宮川豊章（京都大大学学際融合教育研究推進員）△田中正典氏、宮川豊章氏

で卓抜した業績を上げ、各地域の都市再生プロジェクトにも先導役として参画した。

鬼頭氏は行政機関や公益法人などで時代のニーズに沿った社会資本行政の推進に尽力した。崎元氏は構造力学や座屈現象などの教科書や技術書を刊行し、学生や技術者の育成に貢献した。鈴木氏は経年劣化したコンクリート構造物の安全性と耐久性向上に関する提言をまとめ、全国の既設構造物の長寿命化に向けた取り組みを後押しした。

清治氏は公共事業コスト

12面に詳しく

長）△鈴木基行（東北大名譽教授）△清治真人（東大名譽教授）△高橋和雄（長崎大名譽教授、長崎大学特任研究員）△田中正典（JR東日本国際事業本部インド高速鉄道部門顧問）△辻本哲郎（河川情報センター河川情報研究所長、名古屋大名譽教授）△宮川豊章（京都大大学学際融合教育研究推進員）△田中正典氏、宮川豊章氏

で卓抜した業績を上げ、各

地域の都市再生プロジェクトにも先導役として参画した。

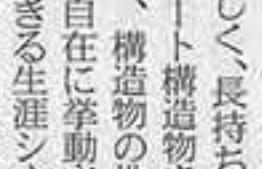
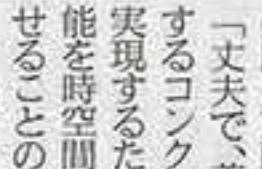
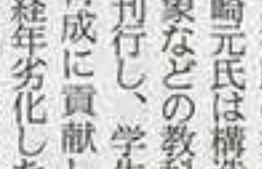
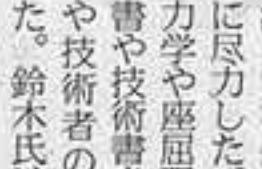
辻本氏は河川の流砂現象の機構解明や河川内に植生が存在する場での水理現象に関する研究で国際的に顕著な業績を上げ、移動床水理学や植生水理学の学術的発展に貢献した。宮川氏は「丈夫で、美しく、長持ち」するコンクリート構造物を実現するため、構造物の性能を時空間で自在に掌動させることのできる生涯シナリオのデザインに必要な研究開発に取り組んだ。六郷氏はコンクリート分野の実務やインフラ点検・ボット技術など新技術の地域実装に貢献した。

構造改革に取り組むなど、行政運営の改革を強力に推進。高橋氏は災害に関する一般図書を数多く刊行し、災害の全体像を伝える役目を積極的に果たした。田中氏は東北・上越・山形新幹線の整備や東京・新宿の輸送改善や大規模駅改良などに携わり、現在の鉄道網の基礎を築くとともに、プロジェクトの評価の信頼性向上に貢献。岸井氏は都市計画分野の耐震安全性に関わる想定研究役）△高橋和雄（長崎大学特任研究員）△田中正典（JR東日本国際事業本部インド高速鉄道部門顧問）△辻本哲郎（河川情報センター河川情報研究所長、名古屋大名譽教授）△宮川豊章（京都大大学学際融合教育研究推進員）△田中正典氏、宮川豊章氏

で卓抜した業績を上げ、各

地域の都市再生プロジェクトにも先導役として参画した。

辻本氏は河川の流砂現象の機構解明や河川内に植生が存在する場での水理現象に関する研究で国際的に顕著な業績を上げ、移動床水理学や植生水理学の学術的発展に貢献した。宮川氏は「丈夫で、美しく、長持ち」するコンクリート構造物を実現するため、構造物の性能を時空間で自在に掌動させることのできる生涯シナリオのデザインに必要な研究開発に取り組んだ。六郷氏はコンクリート分野の実務やインフラ点検・ボット技術など新技術の地域実装に貢献した。



磯部雅彦氏

岸井隆幸氏

崎元達郎氏

清治真人氏

田中正典氏

宮川豊章氏

大町達夫氏

辻本哲郎氏

六郷恵哲氏

大町達夫氏

鬼頭平三氏

鈴木基行氏

高橋和雄氏

辻本哲郎氏

六郷恵哲氏

大町達夫氏

鬼頭平三氏

鈴木基行氏

高橋和雄氏